



国際助産師連盟
戦略
2017年～2020年

International Confederation of Midwives
Strategy
2017-2020

<原文 4～5 頁>

理事会挨拶

各位

このたび、「質」「公平性」「リーダーシップ」という主要な戦略的指針を最優先してきた ICM 加盟団体が新しい 3 年を迎えるに当たり、ここに ICM における 2017 年から 2020 年の戦略を紹介いたします。ICM は、過去 3 年間（2014 年～2017 年）の実績をもとに、助産師をはじめ世界中のステークホルダーの活力や熱意、見識を活かし、助産活動の強化を求め、世界、地域、現地レベルの助産師や女性の声に応えられるようにしていきます。女性とその家族には、女性やその家族を支えるために必要な能力を十分に備えた保健医療専門職である助産師の、周産期を通し相手を尊重し個別に対応する質の高いケアを受ける基本的人権があります。また、助産師にも、必要不可欠なケアを提供するために、十分な教育および規制を受け、自律した保健医療専門職として認識され、尊重され、サポートされる権利があります。ICM は、これらの権利が十分に行使されるよう、政府との協力を強化していきたいと考えています。すべての女性や新生児が質の高い助産ケアを受けられるようにするには、助産師に投資することが必須です。その目的は、不要な介入と予防可能な妊産婦および新生児の死亡を減らすだけでなく、世界規模で母子のヘルスアウトカムを改善・保護し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するためです。

ICM は、「女性が、助産実践能力をもった助産師にアクセスできる機会と、女性中心の出産にかかわるケアを受ける機会を、増やすことを求める」だけでなく、「加盟団体やパートナー、ステークホルダーに、あらゆる状況で助産師が主導する女性中心の出産にかかわるケアの推進を支える専門知識や資源を提供し、支援・指導する」ことが必要であると認識しています。権利と責任のこの両輪が、今後 3 年間の戦略目標の中心です。ICM は、世界、地域、そして現地レベルのパートナーやステークホルダーに助産独自の専門性を率先して発信しなければなりません。ICM は、女性、助産師、そして周産期における女性と助産師独自のパートナーシップに関係するあらゆる場や話し合いにおいて、等しくその声を代表しなければなりません。ICM は、母子およびその家族や地域のためのケアの質を確保するために、助産師の規制、教育、サポートを要望しなければなりません。

ICM の戦略は加盟団体の優先事項と願望を反映しており、ICM 評議会でも明確に打ち出されたものを、最終的に理事会がまとめ作成しました。ICM は加盟団体から成る組織であり、非政府組織、開発パートナーとして、戦略を実施する方法について加盟団体のニーズとパートナーやステークホルダーのニーズのバランスを取らなければなりません。ICM の政策提言活動や業務活動に関する記述にはあえて「要求(demand)」と「提供(deliver)」という表現を用いています。

今後3年間も、助産師がこれまで以上にさらに認知・評価され、且つ助産師によるケアが利用されやすくなることを保証することで、世界のあらゆる所で女性と赤ちゃんを協働で支援できることを期待しています。引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

ICM理事会を代表してFranka Cadee (ICM会長) ,

カナダ・トロントでの第31回3年毎大会会期中に選出されたICM新理事会 (2017年～2020年)

前列左から右へ: Emi Nurjasmi Indomo (東南アジア)、Rafat Jan (東地中海)、Trude Thommesen (欧州)、Franka Cadee (会長)、Dicko Fatoumata S Maiga (アフリカ)、Jemima Dennis-Antwi (アフリカ)、Rita Borg-Xuereb (欧州)、Sandra Oyarzo Torres (南北アメリカ)

後列左から右へ: Hatsumi Taniguchi (西太平洋)、Ingela Wiklund (財務責任者)、Serena Debonnet (欧州)、Sally Pairman (事務局長)、Mary Kirk (副会長)、Emmanuelle Hébert (南北アメリカ)

<原文6頁>

ビジョン

ICMは出産を迎える女性一人一人が、新生児と共に助産師のケアを受けられる世界を目指す

ミッション

女性¹のリプロダクティブ・ヘルスおよび新生児と家族の健康増進をはかるため、出産を迎える女性にとって、そして出産を正常に保つということにおいて、最適なケアを提供する助産師の自律性を促進することにより助産師団体の強化と世界的に助産の専門性の向上を図る。

¹「女性」には女兒も含まれます。助産師は、女性や女兒に直接ケアを提供するだけでなく、女性との関係を通して新生児や家族へのケアも行います。

ICMは、全ての人々の人権を認識、擁護、尊重し、性的指向、性自認、性表現にかかわらず、誰でも差別されることなく助産師による人間的なケアを受けられる権利を支持します。ICMは助産サービスを必要とするすべての人々を快く受け入れ、その方々の心に寄り添い、かつ文化的に安全なケアを行うよう助産師に呼び掛けています。

<原文7頁>

ICM：世界の助産師の声を発信

世界6地域、113か国、132加盟団体の50万人以上の助産師を代表

ICMの地域区分：

アフリカ地域 欧州地域 東地中海地域

南北アメリカ地域 東南アジア地域 西太平洋地域

<原文9頁>

背景

世界レベルで

ICMは助産師を代表する世界的組織として、あらゆる状況で質の高い助産ケアを提供できるよう、十分な教育を受け、そのスキルを備え、規制され、サポートを受ける、助産実践能力のある助産専門職のケアを、すべての女性が受けられるよう、性と生殖に関する健康と母子保健（SRMNH）関連の助産師と保健医療制度の能力開発を支援します。

世界レベルでは、ICMは、国連の2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた主なステークホルダーでありパートナーです。ICMの事業は17の目標すべてに影響を与えますが、ICMでは特に目標3「すべての人に健康と福祉を」と目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を重視しています。女性とその家族が質の高い助産サービスを公平に受けられるようにすることがユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）達成の主要要素であるとしたら、女性が暮らすそのそばで助産師が活動できるようにすることが戦略的に重要なことをICMは認識しています。

持続可能な開発目標



(出典：国際連合広報センターHP)

<原文10頁>

協働して

ICMは、周産期の女性、女兒、新生児、その家族のヘルスアウトカムを改善を目指し、官・民の縦割り社会の打破に務めている「性と生殖・妊産婦・新生児・子ども・思春期の保健」(SRMNCAH)の中心的パートナーでもあります。また、潘基文(パン・ギムン)前国連事務総長の「女性と子どもの健康の実現に向けたグローバル戦略」(EWEC)、国連「妊産婦・新生児・子どもの健康パートナーシップ」(PMNCH)、SheDecides、ホワイトリボン・アライアンス(WRA)の「尊重される妊産婦ケア・パートナーシップ」、質・公平・尊厳(QED)ネットワークなど多数の活動の中で、政策提言や協議を行うとともに、世界的政策の枠組みを決める重要な政策文書や戦略的パートナーシップの取り組みに専門知識を提供し、相談に応じています。

<原文11頁>

権利を根拠とするアプローチ

ICMのあらゆる行動、そしてICMが支持するすべてのことの根底には、次の2大信念があります。一つは、「女性の権利と助産師の権利は人権である」という信念です。周産期全体を通して助産師のケアを受ける女性の権利は人権なのです。その一方で、助産師が専門職としての能力を存分に発揮するために必要な尊敬、認知、教育、規制、サポートを受ける権利も人権なのです。これらの中核となるメッセージが政策、パートナーシップ、行動喚起(CTA)に活かされれば、すべての人々の健康と福祉を改善するあらゆる取り組みを結集・強化し、女性、女兒、新生児にメリットになる質の高い公平なヘルスアウトカム、そして誠実に主導する力強い助産専門職を実現できるとICMは考えています。

<原文12頁>

目標達成に向けてICMはどのように取り組むのか

- 現地レベルでは各国の加盟団体と協力
- 地域レベルでは6つのICM地域内ですべての加盟団体と協力
- 世界レベルでは加盟団体に代表される50万人以上の助産師の声を代弁
- 現地、地域、世界レベルのパートナーと協働
- 理事会、専門職としての助産師、加盟団体からの代表の多様性を公平に推進
- 責任と説明責任そして誠実

<原文13頁>

戦略的指針：

「質、公平性、リーダーシップ」

<原文14頁>

質について

ICMは、今後も質の高い成果を維持し、専門知識と卓越性に関する評価を確立させていきます。助産師による質の高いケアとは、相手を尊重し、母子のニーズを重視したケア、そして、豊富な知識を備え、相手の心に寄り添う能力を有した助産師が提供する安全なケアです。ICMは、相手を尊重する質の高いケアを提供し、妊産婦の人権を認めるようすべての助産師を指導します。仕事に支障をきたす環境は、助産師による質の高いケアの妨げになります。助産師には母子やその家族に質の高いケアを提供できる環境で仕事をする権利があります。それは、すなわち、助産師が世界基準に沿って認知、尊重、教育、規制され、自分の仕事を効率的に行い、自分の持てる力を存分に発揮できる十分な資源が揃い、相手を尊重する安全な職場に平等に参加することを支援する保健医療サービスで仕事することに他なりません。ICMは、各国における助産政策提言力を強化し、国内の政策の協議・展開の中で助産師の影響力を拡大するよう加盟団体と協力していきます。最終的な成果は、助産師主導型、女性中心の質の高い妊産婦へのサービスを実現することです。

戦略目標

ICMは以下を行います。

1. 助産師が質の高い助産サービスを提供できる環境を要求する。
2. 助産師の能力や力量、専門的技術を育てる教育、規制、団体に役立つ国際基準、資源、およびツールを提供する。
3. 助産師と助産活動に関する専門家として、ステークホルダーに質の高いアドバイスを提供する。

<原文15頁>

公平性について

ICMは公平性を中核に据えて運営しています。ICMは地理的、文化的、社会的に多様な会員の視点を活かし、「助産の世界的強化」というミッションを遂行します。この豊かな多様性はICMの成果と業績に重要です。公平性への確約をICMの成果に活かし、問題に対する創造的解決を特定する指針としていきます。

戦略目標

ICMは以下を行います。

1. 助産師が助産教育、規制、継続教育の機会を公平に与えられることを要求する。
2. 女性が助産師主導の助産サービスを受けられる機会を公平に与えられることを要求する。
3. サービスを受けられる公平な機会を加盟団体に提供するとともに、加盟団体のICMへ参加機会の公平性を推進する。

<原文16頁>

リーダーシップについて

ICMは、大胆かつ勇敢に母子にとっての最善のアウトカムを促進し、助産師および助産師主導型サービスを支持します。組織として変動する「性と生殖・妊産婦・新生児・子ども・思春期の保健」(SRMNCAH)環境の中で柔軟に対応する強力かつ安定した指針を示します。また、会員を代表し、先を見越して事前に対応し、加盟団体がサポートを受け、自国の女性や助産師を擁護できるようにします。

戦略目標

ICMは以下を行います。

1. 世界、地域、現地で最高レベルの政策・意思決定に助産師が参加できるよう要求する。
2. 効果的な助産のリーダーシップおよび専門知識を提供する。

<原文17頁>

達成予定事項

2017年から2020年の3年間にICMは以下を行います。

質について

- 助産師および助産師団体を代表する世界的組織として質の高い成果を維持し、その卓越性に関する評価を今後とも確立させていく。
- 戦略的指針と目的に沿った一体感のあるメッセージ発信とプログラム作成を確実に行う。
- 助産実践が世界基準のベストプラクティスと一致するよう、資源となる資料やプログラムの見直しや改訂、拡充を行うことで助産師をサポートする。
- 助産の教育・認定、継続教育プログラム、そして教育者としての助産師の役割を強化する。
- 教育、規制ならびに組織の強化に関するICMの世界基準、資源、ツールの活用を政府に呼びかけ、助産師団体による活用を支援する。

<原文18頁>

公平性について

- 加盟団体、理事会、スタッフ、そしてステークホルダーの多様な視点から決められた優先事項に沿って、世界のすべての助産師の権利を擁護する。
- ICMのすべてのサービスや資料をICMの公用語である3言語で用意し、すべての加盟団体が利用可能になるよう努力する。
- 共通の目標達成に向けて、国・地域・国際レベルでパートナーと協働する。
- 若者を対象にした助産師のナラティブを開発して発表し、若者にとって価値あるキャリアとして助産を普及する。
- 3年毎にICMの6つの各地域内で会議やイベントを企画・実施し、団体間のコミュニケーションと協力を推進する。

<原文19頁>

リーダーシップについて

- 助産師に対する社会の需要を高める世界的な取り組みを率先して行う。
- 他の専門職団体等との戦略的な提携や関係づくりをすることにより、助産師および助産の専門家としてのリーダーシップの役割をさらに果たしていく。

- ICMの理事会メンバー、常任委員会、加盟団体、本部職員、その他ICM代表者を対象にリーダーシップ、トレーニング、メンタリングの機会を設ける。

2018年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。